

「人的・物的体制の整備等」と「職員の人権意識の改革」についての論点細目

1 人的・物的体制をめぐる現状と問題点

過剰収容と収容能力増強策

- ・ 収容増に追いつかない収容能力増強策
- ・ 収容環境の悪化

過剰収容に伴う勤務職員の超過負担

- ・ 収容に見合った職員が確保されていない実情
- ・ 顕在化している問題

階級制と専門官制

- ・ 階級制の必要性
- ・ 専門官制の実情

研修の実施状況等

- ・ 昇任のための研修に重点

人事管理

2 取り組むべき方策

施設の新設・増改築等

- ・ P F I手法を含む施設整備の積極化
- ・ 収容対象を特化した施設の検討

勤務職員の超過負担の解消のための検討

- ・ 増員
- ・ 民間委託の推進

心理技官等収容状況に応じた職種の増強

- ・ 医師，心理技官，ソーシャルワーカー等の増配置

人権教育の積極化等

- ・ 人事異動の適正化
 - 幹部職員の異動サイクルの適正化
 - 一般職員の人事異動の活発化
- ・ 職員研修の見直し
 - 人権研修の強化・充実

女子職員の増

- ・ 男子刑務所における女子刑務官の増，女子職員の幹部への登用

職員に対するメンタルヘルス

- ・ 超過負担状況にある職員への対応

「団結権」について

その他